

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 2 月 13 日作成)

小委員会名	近代建築史小委員会		主 査 名：梅宮 弘光 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会		委員長名：石田 潤一郎
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2021 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 近代建築史研究の発展・深化—国内外の研究情報収集とシンポジウム開催 2. 近代建築史研究の普及と成果の社会還元 — 一般向け見学会の企画・実施 3. 近代建築の保存・再生・活用情報の蓄積 4. 国内外の近代建築史研究を核としたネットワーク化と国際交流の推進 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：なし		
	主査：梅宮弘光 (神戸大学) 幹事：田所辰之助 (日本大学) 委員：大川三雄 (日本大学), 笠原一人 (京都工芸繊維大学), 角哲 (名古屋市立大学), 千代章一郎 (広島大学), 谷川竜一 (金沢大学), 玉田浩之 (大手前大学), 永井康雄 (山形大学), 堀田典裕 (名古屋大学), 橋寺知子 (関西大学), 藤原恵洋 (九州大学), 安野彰 (日本工業大学), 山崎鯛介 (東京工業大学)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2018 年度予算	170,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	1. シンポジウム〈近代建築史研究の磁場 第 1 回 実践編〉 参加者数 48 名 (資料集)「近代建築史研究の磁場 第 1 回 実践編」
大会研究集会	1. モダニズム住宅の継承とその課題—清家清生誕 100 年を機に (資料名)「モダニズム住宅の継承とその課題—清家清生誕 100 年を機に」
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	設置目的 1. に対応して、これまで開催してきたシンポジウム・シリーズ「近代建築史の最先端」に代わる新シリーズ「近代建築の磁場」の第 1 回を開催した。設置目的 2. については、今年度は開催しなかった。設置目的 3. については引き続き情報収集を進めることとし、加えて文化庁「近現代建造物緊急重点調査事業」対応として前述のシンポジウムと連携させながら近現代建造物の評価基準に関する協議を継続している。設置目的 4. については、委員個人レベルではあるが、国際巡回展 BAUHAUS Imaginista の一環である展覧会「バウハウスへの応答」(京都国立近代美術館, 2018 年 8/4 ~10/8) に参画した。
委員会活動の問題点 ・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会開催については、予算上の制約(執行額, 支出規程)のため、大会およびシンポジウムにおける旅費支給外の会合により補わざるを得ない状況。 2. 一般の人々を対象とした建築見学会については、委員が所属する各支部における近代建築史関係常置委員会管掌企画では実施してきており、小委員会レベルではその成果公表を WEB での情報発信とも連動させることを継続して検討したい。 3. シンポジウム新シリーズ企画の第 2 回以降の継続展開に向け準備を進め、これに若手研究者の参画機会増加, 関連他領域との学術交流を連携させる。